



BikeBros.

Bike Bros.RID

さて今回のスクールは天候が良かったせいでかなり気温も上がり、各ライダーのタイヤもいい感じで溶けていました(^ ^)。『自分でもこんなにタイヤって溶けるんですね〜。タイヤが溶けるのって速い人だけの特権だと思ってました!!』とずいぶん喜んでるライダーがいました(笑)。確かに速いライダーのタイヤはよく溶けていますよね。それはタイヤに対してしっかりトラクションがかかるような乗り方が出来ているためです。タイヤは少しずつよじれていくのでその摩擦熱によってタイヤの温度が上がります。トラクションが掛けられるライダーとそうでないライダーでは発熱量が違ってくるので溶け方にも差が出るわけです。

しかしタイヤが溶けたことのないライダーでも今回のように路面温度が40℃を超えるようなコンディションで25分間も走り続けるとタイヤの温度もぐんぐん上昇しコンパウンドを溶かします。この溶け始めの時に一番グリップ感が出る状態です。感激していたこのライダーもグリップ感に背中を押され、過去に経験したことのない程のバンク角で走行したようですね。その証拠にツナギを購入して以来大切に保存していたバンクセンサーをキズものにしてしまったようです(^ -)☆。グリップ感はライダーに安心感も与えるのでバンク角がちゃんと取れないというライダーには夏のサーキットは丁度いいかもしれません(笑)。

このように適正にタイヤが溶けるのはいいのですが、もっと路面温度が上がったりライディングが上手くなったりしてタイヤの温度が更に上昇すると「熱ダレ」という状態になります。これはタイヤ表面のコンパウンドが溶けすぎて、いつもならもう少し踏ん張ってくれる感触の所でスルヌルと滑り出してしまいう状態です。こうなるともうタイヤが溶けてカッコイイとは言ってもらえません(^ ^;)。空気圧もずいぶん上がってしまっていることがあるので要注意です(+o+)。時には2.7kPaや2.9kPaまでなっている車両もあります!こうなるとますます滑りやすくなってしまいますね。

タイヤの種類によっても適正な使用温度があるのを知っていますか?夏の走行会などでこの熱ダレと呼ばれる症状に悩まされるタイヤはだいたい決まっています、性能ポジションとして各メーカーの上から3番目のタイヤに多く見られます。最上位はレース用タイヤ(スリックは除く)。次がどちらかと言えばサーキットの性能を重視するライダー向けのタイヤ。そして3番目にどちらかと言えば一般道のライフも考えつつサーキットも楽しめるタイヤです。この3番目のポジションに分類されるタイヤを履いているライダーはスクールなどでも多いですね。このタイヤはサーキットでもかなりのポテンシャルを持ちますが、一般公道の路面温度の低い状態で安定したグリップを発揮することが重要となるため、熱にはあまり強くないものが多いのです。初期グリップはよくても走り続けているとスルヌルと滑り始めてしまうわけです。その点最近のサーキット寄りのスポーツタイヤ(上から2番目)は、熱ダレも少なくかなりいいパフォーマンスのタイヤを各メーカー揃えていますね。これもサーキット走行を楽しむライダーが増えたせいでしょうか?

上級レベルのライダーがサーキットでベストラップを出すにはやはりレーシングと呼ばれるタイヤを履くのが一番ですが、このレーシングタイヤはますますライフ(持ち)が短くなり新品と30分後では全くパフォーマンスが変わってしまいます(> <)。具体的に言えば30分後には旋回性、グリップがガタ落ちするのです。またメーカーによってはかなり剛性の高い構造になっているためなかなか一般ライダーには使いこなせないタイヤもあります。対してその下のスポーツタイヤの方が潰れやすいのでタイヤの存在感がありライダーに安心感を与えるため思い切りのいいライディングが出来ることが多々あるのです。実は私もビデオを撮ったり、マンツマンで走りを見たりする時にはレーシングよりスポーツタイヤの方がタイヤを気にせずに思い切りよく走れるのでこの手のタイヤをよく使っています。熱ダレもそんなにひどくありませんね…(^ -)☆

サーキットで走行する場合、レーシングタイヤとスポーツタイヤどちらを選択するべきかはそのライダーのスタンスにもよるでしょうが、技量の面から言えばレーシングタイヤの30分後の性能の変化がはっきりと体感できないライダーはまだレーシングを履くレベルにないかもしれませんね。こんなライダーは逆にスポーツタイヤの方がタイムも良かったりするかもしれませんよ(^ ^)。『サーキットにはレーシングタイヤ!』と決めつけずに一度お試しあれ。2倍以上持ちますから財布にも優しいです(^ ^)。

ではまたサーキットで会いましょう!
ライディング Dr. MINAKI

Bike Bros. RIDING INSTRUCTOR



中村
インストラクター

皆木
インストラクター

永野
インストラクター

